



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail:iuichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.39(2022.9) 本号の編集担当者 若林英樹

【支部情報】

予定

1) 『第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2022 年 11 月 13 日(日) オンライン開催(Zoom)

2) 『中部ブロックポートフォリオ発表会 * 2023』

2023 年 3 月 4 日(土)

●岐阜支部

【活動報告】

1) 『第 3 回岐阜総合診療セミナー』

日時:2022 年 7 月 27 日(水)20:00~21:30

場所:Zoom

講演:岐阜県北西部地域医療センター 国保白鳥病院 院長 後藤 忠雄 先生

「医療機関から飛び出そう！地域活動にかかわるコツ」

参加者:22 名

内容:;ポートフォリオ領域 8「地域志向のプライマリ・ケア」に関連して、後藤先生の郡上市でのこれまでの取り組みと成果をご紹介いただくとともに、行政との関り方や住民の前向きな参加を促すコツ、ポートフォリオで優を取得するにはどうすればよいか等について教えていただきました。

2) 『第 48 回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時:2022 年 9 月 9 日(金)18:30~20:30

場所:Zoom Webinar

内容:

(1)ミニレクチャー 中濃厚生病院消化器内科 部長 白木 亮 先生

「最近の慢性肝疾患の話題」

(2)研修医による症例ディスカッション 2 例

(3)特別講演 岐阜大学医学部附属病院消化器外科 講師 田中 善宏 先生

「がん治療と血栓症治療のコンビネーション“KEEP-ACT2”の概念について」

参加者:研修医 24 名、指導医 17 名、計 41 名

【今後の予定】

1) 『第 3 回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー(心臓・血管)』

日時:2022 年 10 月 22 日(土)13:00~15:40

場所:総合在宅医療クリニック

講師:岐阜大学医学部地域医療医学センター 教授 牛越 博昭 先生、他 9 名

2)『第 49 回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時:2023 年 2 月 17 日(金)18:30~20:30


場所:じゅうろくプラザ

内容:

- (1)ミニレクチャー
- (2)研修医による症例ディスカッション
- (3)特別講演 岐阜市民病院総合診療・リウマチ膠原病センター センター長 藤岡 圭 先生

●福井支部

【活動報告】

 総合診療・総合内科センター **General 道場 「ど~しよう会」**を開催しました

GGG (ジージージーじゃないよ) センターが主催する総合診療・総合内科医育成プロジェクト、その名も **General 道場!!** プロジェクト 2 本柱の一つである **「ど~しよう会」** は専攻医が普段の診療であれれ~と思ったことを気軽に相談できる人生相談所!! 県内どこにいても Dr.G 達のアツ~いアドバイスをもらえる絶好の場。日本一相談しやすい人生相談所を目指しスタッフ一同、日々精進中🔥🔥🔥



 総合診療・総合内科センター **「福井県 学生地域夏期研修 2022」**を開催しました

地域医療に携わる!! あつい思いを持った学生に集まって頂きました。今回は**福井大学**と**自治医科大学**の3、5年生より **40名の学生**が参加してくれました。福井県が誇る Dr.G 達を囲んで自分たちの未来や疑問点をたくさんぶつけて頂きました。大学交流会はもっとやっていきたいなあ~



センター**ホームページ** (<https://ggg.med.u-fukui.ac.jp>) と **twitter** (@GGGdoctor) のフォローもよろしく👉



←HP



←twitter



夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜 開催！

毎年恒例、海浜救護所での救護体験と診療所等での地域医療体験を組み合わせた、医療系学生・若手専門職向けの人気のツアー、「夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜」、3年ぶりに開催されました！アジアで初めてビーチの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した高浜町の若狭和田ビーチに、全国各地から4週間で合計10名が集結し、地域医療&海を濃厚に感じていただきました。<http://www.wdashin.com/education/tour.php>



●富山支部

【活動報告】

〇とむじえり勉強会

日程:毎月第2水曜日 Zoom での開催

専攻医によるポートフォリオの領域に関するレクチャーと、ポートフォリオ発表の2部構成。司会進行などの運営業務も各専攻医が順番に担当し、協力しあって運営しています。8月度からは「タネ症例の部屋」という、PFになりそうな経験を自由に

討論できる場も提供しています。

<7月PF勉強会>

かみいちの戸田先生による「緩和ケア」のレクチャーでは、特に悪い知らせの伝え方や、感情についてのコミュニケーションツールの紹介がありました。疼痛コントロールやそれ以外の症状への対処も必要ですが、全人的な苦痛に対応できる医療者であることが患者さんからは求められます。

PF発表では5名の専攻医のポートフォリオ発表をグループに分かれて行いました。それぞれ縦割りグループや自施設で練ってきた良い発表でした。多面的な視点でコメントを得られるので、ショーケースポートフォリオのために良い機会だったのではないかと思います。

<8月PF勉強会>

コロナウイルスの流行が猛威を振るう中ですが、各専攻医レクチャーやPFを作成してくれました。

レクチャーの前に、先月に行われた家庭医療専門医試験の実技試験を終えた武島先生より報告をいただきました。感想や準備すべきこと、指導医へのメッセージを話してくれました。最後のメッセージはアツイですね！僕たちも指導力を向上させ続けたいといけません。

レクチャーは竹村先生による「人生の最終段階におけるケア」でした。個人的には本人の医学的妥当性の部分は抜けやすい部分かなあと思っています。ここができるところまで詰められていないと患者や家族さんへの説明がぼやっとしてしまうことがあります。PFでもつつこまれやすいポイントかなあと思っています。一見難しい説明をわかりやすくしているところは見せ方として特に良かったです。

PF発表ではタネ症例を含めて4事例の発表がありました。

正解がない中で患者さんの選択・決断を促す時、専攻医たちはどのような枠組みを使えばよいか、考えることができていると感じました。どの選択が患者さんや家族(、周囲の医療者)の最大公約数的な幸せにつながるのか周囲と共有しておくことは大切ですね。

<9月PF勉強会>

レクチャーは渡辺一海先生で「未分化な健康問題」でした。

未分化な症候を診断するための方法論や、不確実性、患者満足度について網羅的にかつわかりやすい口調で説明されていました。

個人的には、

- ・置かれた環境でできる限り診断や方針決定に迫ることが出来ているかどうか(自分が未熟だったから未分化のままだった、とかではない)

- ・状況を打開するために家族関係や患者中心性などの総合診療医としてのコアになる技術で多面的に評価・介入できているか

- ・継続的に診察して適切なマネジメントで患者満足につながられているかどうか

は重要かと思えます。

PF発表ではいつものようにそれぞれ盛り上がっていたようです。

○臨床研究勉強会

富山で臨床研究を活性化させるため、昨年度に引き続き今年度も臨床研究勉強会が開催されました。全5回で1年通して専攻医も指導医も“研究力”を磨いていきたいと思えます。

<第1回 臨床研究勉強会>

とむじえり専攻医/指導医対象のオンライン臨床研究勉強会を7月21日に行いました。

今年度初回となった今回は「文献検索」をテーマに、プログラム内より富山大学附属病院総合診療科 北啓一朗先生にお話しいただきました。臨床疑問、研究についての文献検索に加え、日常診療(治療/検査/臨床推論)での検索前の準備(SQ script作成など)、その後の具体的な検索方法について、わかりやすく、また論理的に手順を共有いただきながら参加者間で意見交換しつつ学ぶことができました。重要ジャーナルの情報提供ウェブサイトや文献検索ツールのご紹介もあり、勉強会終了後に早速登録された方も多いのではないのでしょうか。

文献検索は、診療所や地域の病院など、いざというときに誰かに聞こう！というのが難しい環境で働くことも多いプライマリケア医にとって非常に重要なツールであり、今後もプログラムでブラッシュアップしていきたいと思えます。

<第2回臨床研究勉強会>

今年度第2回目となる、とむじえり専攻医/指導医対象のオンライン臨床研究勉強会を8月31日に行いました。

今年は研究以外にも症例発表や、また目標としても論文投稿のみならず学会発表なども視野に入れて勉強会を行っております。そこで、富山からの論文・学会発表を経験された先生方よりその経緯やお悩みなどをご共有いただきました。ご登壇いただいたのは

英文誌への量的研究を黒田格先生

和文での症例発表(学会発表)を齊藤麻由子先生

和文誌への質的研究を北啓一朗先生

の3名の先生方です！

リサーチクエスチョンを絞っていった経緯、解析方法選択の紆余曲折や、患者さんに同意をいただくプロセス、倫理委員会や雑誌投稿の査読の道のりなど、涙なしでは語れない内容も？！たくさんご共有いただき、質疑応答もとても盛り上がりました！

次回はいよいよ、現在研究のタネをお持ちの先生方と、さらなる研究計画を練っていきます。

とやま総合診療プログラムでは、今後も、プログラム内外の先生、また、大学のリサーチ・ミーティングや各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思えます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

【今後の予定】

○プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会について

来たる11月13日に、第11回プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会が富山大学総合診療科が主幹となり開催されます。「総合診療医を俯瞰する」というテーマでシンポジウムならびに教育講演が行われますので、皆さんぜひ御参加のほどよろしくお願いいたします。

第11回 日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 学術集会

2022
11/13
(日)
13:00～
16:30

オンライン形式
にて開催

総合診療医を俯瞰する

● シンポジウム「アラ10（テン）私を俯瞰する」

富山大学附属病院	河合 皓太 先生
志摩市民病院	江角 悠太 先生
菊川市家庭医療センター	松田 真和 先生
藤田医科大学総合診療プログラム	湊 しおり 先生

● 教育講演

- ① 四方 哲 先生 京都府山城北保健所 所長
『 四方よしの地域医療 』
- ② 山城 清二 先生
富山大学 富山プライマリ・ケア講座 客員教授
『 富山大学総合診療科の歩み 』

参加のお申込みは、下記のURLまたはQRコードからお申込み下さい。

<https://forms.gle/yPXV14KWjioo7N6w7>

日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック 富山県支部
富山大学附属病院 総合診療科
大会長 山城 清二
副大会長 北 悠一朗
実行委員長 三浦 太郎

事務局 TEL: 076-434-7244 mail: soshin@med.u-toyama.ac.jp

●静岡支部

1) 第10回静岡プライマリ・ケアフォーラム

静岡県支部では、下記の内容で第10回静岡プライマリ・ケアフォーラムをハイブリッド開催いたします。
ぜひふるってご参加ください。

日時: 2023年11月23日(水・祝) 13:30-17:00

場所: アクトシティコンgresセンター43・44 会議室(ハイブリッド開催)

静岡県浜松市中区板屋町 111-1

テーマ: 『語り合い、共創する、新フェーズの地域医療』

- ・一般演題(研究・ポートフォリオ・活動報告): 公募3~4題
- ・ショートレクチャー『プライマリ・ケアにおける遺伝診療』
岩泉守哉先生(浜松医科大学 臨床検査医学 病院講師)
- ・シンポジウム『地域での実践~今までとこれから~』
成島道樹先生(清水厚生病院 副院長)
水谷民奈先生(浜松佐藤町診療所 所長)
西永尚典先生(ウエスト薬局)
北西史直先生(トータルファミリーケア北西医院 院長)

参加登録: <https://onl.sc/kteJpLE>

演題募集: <https://onl.bz/J86EBHr> (9/30までに申込み、別途10/31までに抄録提出をお願いします)

【活動報告】

1) しずセミ！～静岡の家庭医と学ぶプライマリ・ケア入門セミナー～

日時:2022年9月17日(土)19:00～

参加者人数:14名

開催方法:オンライン(Zoom)

静岡家庭医養成プログラム(浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム)で企画した勉強会が開催されました。昨年度、オンライン勉強会を開催したところ好評だったため、今年度から定期開催することとなりました。9月17日は記念すべき第1回のテーマは『健康の社会的決定要因』で、県内外からお申し込みがあり、大変活発な勉強会となりました。

専攻医の発表を元に医学生や医師、歯科医師、看護師など多職種が各グループに分かれて意見交換を行いました。事後アンケートでは、「勉強になった」、「患者さんへのアプローチ方法がよくわかった」など、多くの感想をいただきました。今後も医学生にもわかりやすく、様々な職種が参加できるような勉強会を開催してまいります。

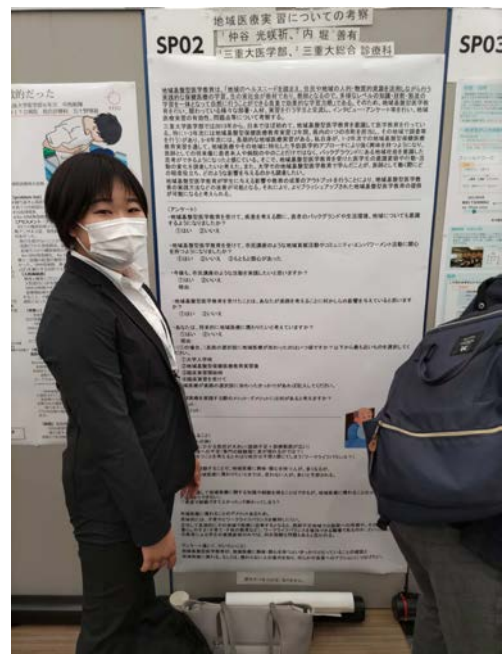
●三重支部

【活動報告】

1) 第13回プライマリ・ケア連合学会で三重大学学生4名が研究成果を発表

- ・久保田英俊さん:プライマリ・ケアにおける、ひきこもり患者の受療と診療に関する調査
- ・山中章司さん:オンライン授業における医学生の学習環境及び態度 Post コロナを見据えた横断的観察研究
- ・黒田睦大さん:OSCE(Objective Structured Clinical Examination)における電話、オンラインを用いた医療面接、対面による医療面接、それぞれの違いを明らかにする研究
- ・仲谷光咲祈さん:地域医療実習についての考察

久保田さんと山中さんは学生セッション優秀賞を受賞しました。



2) 総合診療 虎の穴 卷之十五 開催

「ジェネラルを症例から学ぼう」

日時:2022年8月4日(木)19:00-20:30

会場:Zoomによるオンラインセミナー

演者:坂元士月先生(市立伊勢総合病院):未分化な健康問題～そのとき僕は風邪と診断した～
谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院):解説講義

【今後の予定】

1) 三重大学総合診療プログラム ポートフォリオ発表会 開催予定

日時:2022年9月11日(日)9:20-12:00

会場:Zoomのブレイクアウトルームを用いてオンラインでの開催

2) 総合診療 虎の穴 卷之十六 開催予定

日時:2022年10月20日(木)

会場:Zoomによるオンラインセミナー

3) 第2回 MieGP12 フォーラム開催予定

～総合診療医をどう地域で産み育てるか～

日時:2022年11月26日(土)15:00-18:00

会場:三重大学 三翠ホール(小ホール) 三重県津市栗真町屋町 1577

講演①:谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院)

「そんなに違う? Specialist と Generalist の見えてる景色～両者の経験を踏まえて～」

講演②:山添尚久先生(町立南伊勢病院)

「南伊勢の地域医療・ケア」

特別講演:雨森正記先生(弓削メディカルクリニック/滋賀家庭医療学センター)

「へき地にロマンは埋まっている～10年連続で家庭医療、総合診療専攻医を集めた診療所～」

申込:<https://forms.gle/VTmT4GfTWXQEoDT59> (※11/24 正午締切)

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県;若林英樹、富山県;三浦太郎、石川県;吉岡哲也、岐阜県;森田浩之、愛知県;佐藤寿一、福井県;林寛之、静岡県;井上真智子

- プログラム責任者の会中部ブロック代表;大杉泰弘(藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム)

- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村悦子(中部ブロック支部事務局) e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp